

倉吉東高 高校新聞

第116号

7月24日発行
倉吉東高新聞部

学祭自活特集

アンコール
バンド1位

KARAKUCHI BOYZ

爆発的！不可能無JBOYZ



熱唱するKARAKUCHI BOYZメンバー

西田さんは「世間が俺たちを認めてくれて、自信が確信に変わりました」と達成感を見せた。

来年に向けて「今年とはレベル(レベルが違う)。みんなでもっと練習して上手になります。進化した僕達に乞うご期待。トークは少ないお」と意気込んだ。

最後に一言ずつメッセージをもらった。松本(ケチャツプ)「来年はミスリません。全貌はまだ秘密です」

高橋「僕は高橋fireworks」

足羽「カレーは中辛派だ」

カラオケいたち

心に響く歌声



「点描の歌」などを歌った「りたち」の森田千莉さん(左)と稲葉義樹さん(右)

アンコールのカラオケ・ダンスで3位を獲った「りたち」。メンバーの森田千莉さん(2年3組)にインタビューを行った。

森田さんはカラオケ以外にも出演するステージがあるため合間を縫って練習したそう。

「歓声や拍手で盛り上がって良かったです。大勢の前で歌うのが目標だった」

倉東AWARD Mr.は河本優太さん



ピースを向ける倉東生の頂点。左から菅野遼人さん、河本優太さん、松本収馬さん

倉東AWARDが学園祭2日目に終わった。生徒に行ったアンケートを基に、弟にしたい人やベストコンビなど個性あふれる人たちがステージを彩った。そこで、Mr.倉東、Ms.倉東、筋肉マンに倉東生へメッセージを聞いた。

Mr.倉東の河本優太さん(3年4組)は「選んでくれてうれしいです。程よく日

熱戦！チームリーダー対決



叫ぶ山根さん

学園祭2日目に終わったチームリーダー対決。3つの競技で競い、観客と一体となって盛り上がった各チームリーダーに感想を聞いた。

1つ目はイントロドン。山下天さんから「他の人の回答が早すぎたため、僕はまともに答えることができませんでした」と声が上がる程、レベルの高い戦いが繰り広げられた。

2つ目はジェスチャー。

青春の叫び！



我が子(ルービックキューブ)へ愛を伝える杉浦さん

山根着太さんは「ジェスチャーはいかに体全体を使ってお題に似た動作、形で表現できるかにかかっている。ダイナミックかつ繊細な動きは全ての人を魅了する」と深く語ってくれた。

3つ目は鉛探し競争。土

未成年の主張

ビックキューブを揃える大技に挑戦し、見事成功。昼の自活のリベンジを果たした。仲間の田中智哉さん(2年4組)も熱のこもった実況で応援した。

続いて、演劇部1年生によつて披露されたエチュードは会場にいた全員が本当のラブアタックだと信じてしまうほどの出来栄でさらに会場を沸かせた。

その後、続々とラブアタック参加者が思いを伝え、花火への誘いもあり会場は熱気に包まれた。

(桑村 野儀)

ダンス C8 華麗なダンスを披露

チア部2年生で結成されたC8。メンバーの板倉七海さん(2年2組)、浅田和香さん(2年3組)、植田朱美さん(2年5組)にインタビューを行った。

板倉さんは「練習時間が合わなかったことと練習場所が更衣室で狭かったことが大変でした」と振り返った。

良かったことは仲が深まったこととダンスの覚えが早くなったことだそう。

浅田さんは「練習し始めた時やアンコールに入ったときは不安で仕方なかった」という。しかし、ステージに立ったときはたくさんの人の歓声や拍手を聞いてやって良かったと思ったそう。「緊張したけれど、観客の中に、アンコールに投票してくれた人がこの中にいるんだなと思うととてもうれしかったです」。

3人は最後にアンコールに投票してくれた人、見に来てくれた人への感謝を述べ、「来年も見に来てちょ♡」とお茶目に話した。

(高野 正司)



観衆を魅了するC8